

秋 本番

「名月や 池をめぐりて 夜もすがら」(松尾 芭蕉)

中秋の名月(9月28日)も過ぎ、いよいよ秋本番を迎えようとしています。
学校の中にも、秋の訪れを感じられる光景がたくさんあります。

- ・「校舎を吹き抜ける涼風」
- ・「草むらから聞こえる虫の声」
- ・「草花の移り変わり」
- ・「柔らかな日差し」

そして、「虫取りをする子どもたち」・・・休み時間を待ち構えて、今日も子どもたちは運動場へと元気に飛び出して行きました。ドッチボールや鬼ごっこをする子どもたちに交じって、飼育小屋近くの草むらで、バッタなどの虫を探している子どもたちを、最近見かけるようになってきました。また、子どもたちの服装を見ると長袖を羽織っている子も増えてきました。秋は、いつのまにか子どもたちの中にも訪れようとしています。

普段の生活の中で、季節の移り変わりを感じる事が少なくなってきました。しかし、季節の変化を感じ、いろいろなことを思い浮かべ、考えることは、子どもたちの心の成長にとって大切なことだと思われまます。

ぜひ、ご家庭でも「秋探し」をされてみたらいかがでしょうか。秋の歳時記を載せておきますので、よろしければご参考にしてください。

【秋(10月)の歳時記】

- ・神無月(かんなづき)・・・10月の別の呼び名
- ・自然・・・いわし雲 天高し 秋の七草 秋の長雨
- ・花・・・秋桜(コスモス) あざみ けいとう 金木犀(きんもくせい) りんどう
- ・野菜・・・かぼちゃ しめじ まつたけ
- ・暮らし・・・秋祭り ぶどう狩り 栗拾い 紅葉狩り 新米

※ 9月17日18日の2日間、5年生の林間学校を実施しました。子どもたちが出発する前、「ルールを守って楽しい林間学校にする」「仲間と協力する」「友だちのいいところを見つける」の3つを頑張ってもらいたいと話しました。企画・準備・実施と一人ひとり役割を持ち、そこには責任もあり、互いの協力があります。一人ではできないことも、みんなできやり遂げられる。それが宿泊学習の重要な目的です。見事に子どもたちはその約束を果たしてくれました。子どもたちの顔には、やり遂げた達成感や充実感が見られ、眩しい輝きを感じました。

校長 竹田 和弘